教科目名　現代社会(Social Science)

学科名・学年　：　全学科　1 年
単 位 数 な ど　：　必修　1 単位　（前期 1 コマ，授業時間 23.25 時間）
担 当 教 員　：　堀　栄造（1E,1S），久保山　力也（1M,1C）.

授業の概要

現代社会について環境問題，生命倫理，経済，等の多角的視点から学び，地球的視点から物事を考える力を身に付けることができるように授業を展開する.

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(A1)**

(1) 現代社会の基本的な諸問題に眼を向け，自ら考える姿勢を身に付ける.（定期試験）
(2)現代社会に対する基礎知識を習得する.（定期試験）

回	授　業　項　目	内　容	理解度の自己点検
1	地球環境と資源エネルギー 科学技術の発達と生命	○地球環境ト資源エネルギーについて理解できる.	【理解の度合い】
2	豊かな生活と福祉社会のあり方	○生命倫理，臓器移植，遺伝子組み換えについて理解できる.	
3	経済社会の変容と現代の企業		
4	市場経済のしくみ	○市場経済について理解できる.	
5	国民所得と経済成長	○金融のしくみと働きについて理解できる.	
6	金融のしくみと働き		
7	中央銀行の役割と金融の自由化	○金融政策について理解できる.	
8	政府の役割と財政	○政府の役割と財政について理解できる。	
9	前期中間試験		【試験の点数】　　点
10	前期中間試験の解答と解説 戦後復興と高度経済成長	○戦後復興と高度経済成長について理解できる.	【理解の度合い】
11	産業構造の転換と国際経済環境の変化	○産業構造の転換と国際経済環境の変化について理解できる.	
12	経済のバブル化とその後	○経済のバブル化とその後について理解できる.	
13	日本経済の現在		
14	中小企業と農業	○中小企業と農業について理解できる.	
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	しっかり復習すること.	【総合達成度】
教　科　書	間宮陽介ほか著,『現代社会』，東京書籍.	
参 考 図 書		
自学上の注意	授業内容をそのつど復習すること.	
関 連 科 目	政治・経済，法学概説，経済学概説.	
総 合 評 価	達成目標の（1），(2）について 2 回の定期試験により評価する．評価が 60 点以上を合格とする．再試験は，総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する.	【総合評価】　　点